

2021 年 4 月号

4 月 15 日（木）発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

月刊 温根内通信 No. 295

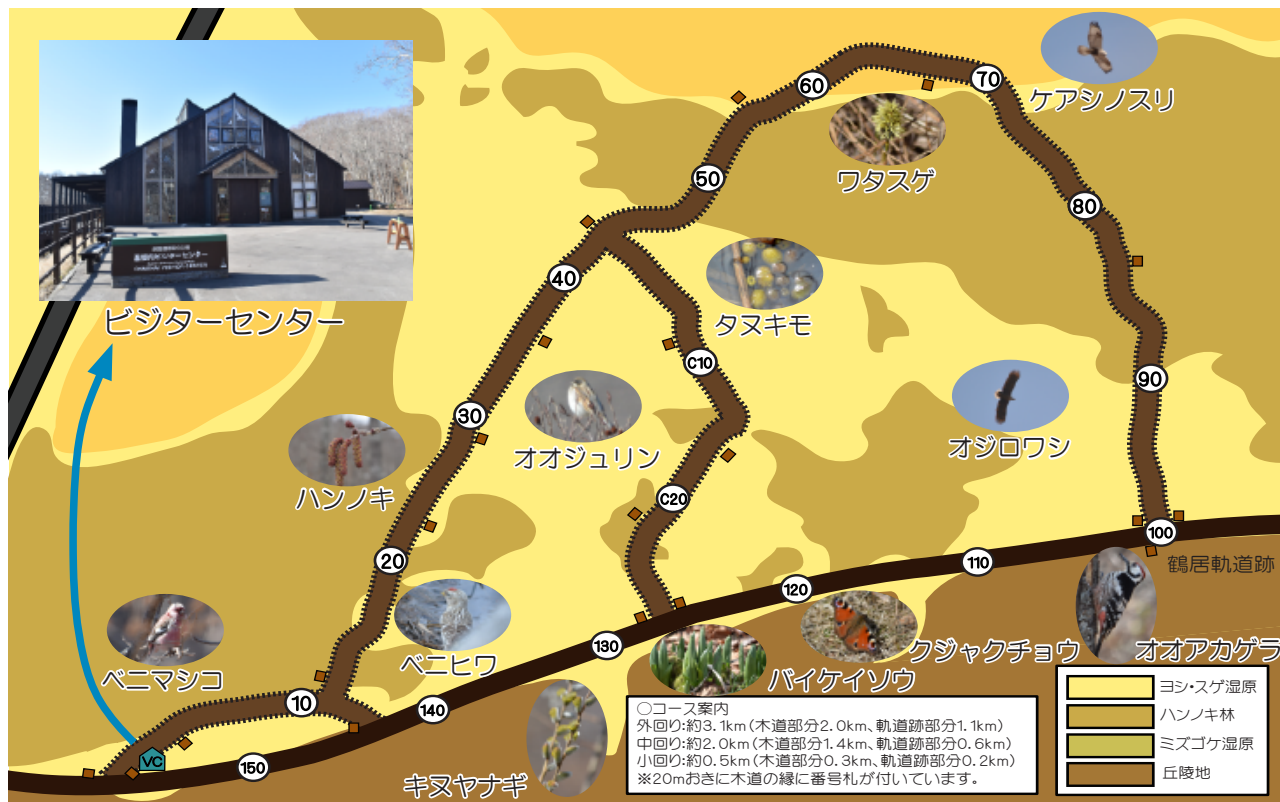


褐色の湿原に目を凝らせば…

すっかり雪が解け、褐色の風景が広がる釧路湿原ですが、生きものたちは活発に動き始めています。

枯れヨシがカサコソと不自然に揺れているので目を凝らすと、エゾタヌキがじっとこちらを見ていました。普段気づかないだけで、自然の方が実は私たち人間を「見ている」のかもしれません。

☆☆☆温根内ビジターセンター 探勝木道周辺の自然情報☆☆☆



～温根内探勝木道周辺の自然～



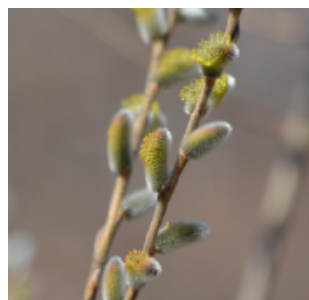
【ハンノキ】
カバノキ科 樺の木
湿原内でも大きく生長できるハンノキ。木道沿いではこの枝先に、花粉を出す雄花と小さな雌花が確認できます。



【ワタスゲ】
カヤツリグサ科 綿菅
ミズゴケ湿原を注意深く探してみてください。本種でよくイメージされる白い綿毛はこの「実」になり、5月下旬頃から見られます。



【タヌキモの越冬芽】
タヌキモ科 狸藻
ヨシ・スゲ湿原の水面に浮かぶ黄緑色の球状の物体があります。越冬したタヌキモの殖芽で、ここから水中に葉を伸ばします。



【キヌヤナギ】
ヤナギ科 絹柳
温根内周辺のヤナギの仲間で最も早く花をつけます。ヤナギは雄株と雌株があり、写真の雄株は黄色い花粉を飛ばしています。



【バイケイソウ】
シュロソウ科 梅蕙草
ニョッキという擬音が似合う風貌です。鶴居軌道跡の湿った地面から力強く芽を出しています。毒があるので誤食にはご注意ください。



【クジャクチョウ】
タテハチョウ科
これから昆虫も多く出現しますが、このチョウも春を感じさせてくれる仲間のひとつ。翅を広げると鮮やかな模様が目を引きます。

～温根内探勝木道周辺の野鳥～

早春の釧路湿原には、ベニマシコやオオジュリンといった夏鳥の姿が徐々に見られるようになり、逆に冬鳥たちは確認が難しくなってきました。とはいえ、今は渡りの時期ということもあり、漂鳥のマヒワや旅鳥のオオハクチョウなどの姿もよく見られています。来月には夏鳥たちの囀りが温根内周辺を賑わせることでしょう。



【ベニマシコ】 夏鳥（一部越冬） アトリ科 紅猿子
今年も「ピッポ…」という軽快な鳴声が聞こえてきました。なかなか姿を現しませんが、見つけると嬉しくなる野鳥です。



【オオジュリン】 夏鳥
ホオジロ科 大寿林
湿原にいち早くやってくるおなじみの夏鳥。完全に夏羽に変わっていないオスがヨシにつかまり囀りを聞かせてくれています。



【ベニヒワ】 冬鳥
アトリ科 紅鷗
木道脇の湿地で水を飲みに下りてきました。マヒワの群れの中にこの1羽だけが紛れていました。頭の赤い羽がトレードマーク。



【ケアシノスリ】 冬鳥
タカ科 毛足鷲
稀に見かける冬鳥。ミズゴケ湿原の上空をホバリングしていました。尾羽先端の黒い帯が不明瞭なので幼鳥と思われます。

○温根内探勝木道周辺で観察された花（3月15日～4月14日） ※和名は五十音順

■アキタブキ ■エゾエンゴサク ■ガンコウラン ■キジムシロ ■キタミフクジュソウ ■キヌヤナギ ■ケヤマハンノキ ■ハンノキ ■フクジュソウ ■ミズバショウ ■ワタスゲ

○温根内周辺で観察された鳥（3月15日～4月14日） 和名は日本鳥類目録第7版の順

■オオハクチョウ ■アオサギ ■タンチョウ ■タシギ（4/8 初認） ■トビ ■オジロワシ ■チュウヒ ■ハイタカ ■ノスリ ■ケアシノスリ ■コゲラ ■オオアカゲラ ■アカゲラ ■モズ ■カケス ■ハシボソガラス ■ハシブトガラス ■ハシブトガラ ■ヒガラ ■シジュウカラ ■ヒバリ（3/26 初認） ■ヒヨドリ ■エナガ ■ゴジュウカラ ■キバシリ ■ミソサザイ ■ツグミ ■キセキレイ（4/14 初認） ■ハクセキレイ（4/1 初認） ■カワラヒワ（4/9 初認） ■マヒワ ■ベニヒワ ■ベニマシコ（3/31 初認） ■シメ ■カシラダカ ■オオジュリン（3/31 初認）

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

☆☆☆☆ 自然ふれあい行事が開催されました ☆☆☆☆

◎『春の足音を聴きに行こう』4月11日 参加者：13名

早春の陽気に満ちたこの日、湿原の春のを見つけに行く今年度初めてのふれあい行事を行いました。まずは新しくなった木道を歩き、以前の木道との違いを参加者に感じてもらいました。湿原の中へと入って行くと、そこは茶色一色で花の時期は一見してまだ先のことに感じましたが、よく見ると花粉を飛ばしているハンノキや、芽吹き始めたカラフトノダイオウ、ミツガシワといった植物の若い芽が見られました。また、湿原の奥の方



は、春の訪れを告げるエゾアカガエルの合唱も聞こえ、耳を澄ませました。ミズゴケ湿原もまだ緑の時期はこれからという雰囲気でしたが、目立たないワタスゲの花がちらほらと咲き、季節の着実な歩みを感じられました。散策の終盤には、顔を出し始めたフキノトウを皆で観察し、雄株・雌株の見分け方や、雄株につく雌しべの役割などを確認しました。参加者は緑の季節を迎えつつある湿原の雰囲気を存分に味わっていた様子でした。（解説：温根内ビジターセンター指導員 藤原伸也）



☆☆☆☆ いよいよ！新しい木道が開通しました ☆☆☆☆

●新しくなった木道を歩いてみよう！

老朽化に伴い、架け替え工事を行ってきた温根内木道ですが、このたびビジターセンターからの木道がついに開通しました！今回新し



新しくなった木道

くなった箇所は、ビジターセンターの前を通り、丘陵地側へ通じる約300mの区間です（下の地図）。さて、この新しい木道。以前の木道を知っている人は、歩くと少し「あれ？」と思われるかもしれません。今までよりも



やや高い位置を歩いているように感じるとと思います。これは、今まで湿原内に入るにつれて若干低下していた木道を、ほぼ同じ高さに保つようにしたためです。木道は今後も順次、改修されていく予定です。ご不便をおかけしますが、全体の改修が終わるまではバリアフリー区間が地図のように変更されていますので、ご了承ください。

●身体障がい者専用駐車スペースが2台分に増えました

館内トイレの浄化システムが大幅に改修されたのに伴い、ビジターセンター裏の駐車スペースが広がり、今まで1台分だった身体障がい者の方専用の駐車スペースが2台分に増えました。なお、必要な方には館内で車いすを無料で貸し出ししております。気軽にお声がけください。



2台分に増えた身体障がい者専用駐車スペース



←鶴居軌道跡の一部区間は仮設遊歩道となっております。足元にはお気を付けてください。

☆☆☆☆ イベントのご案内（5月）事前の申し込みが必要です ☆☆☆☆

新型コロナウイルスの感染状況により行事自体が中止になる可能性があります。事前に各施設へご確認ください。

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み ☎ 0154-65-2323

♪早朝バードウォッチング

〔日時〕5月23日（日）8:00～10:00

〔定員〕10名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料

〔場所〕温根内ビジターセンター駐車場

釧路湿原は繁殖期を迎えた野鳥のさえずりで大賑わいです。野鳥の活動が活発な早朝の時間帯に観察会を行います。バードウォッチング初心者さんも歓迎します！



○塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）⇒お申し込み ☎ 015-487-3003

♪塘路フィールドウォッチング～春編～

〔日時〕5月4日（火・祝）10:00～12:00

〔定員〕10名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料

〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

～寒暖差にご注意を～

日ごとに暖くなるこの頃ですが、まだ早朝は氷点下の日もあります。晴れていても急に曇って冷えることもありますので、上着は忘れずにお持ちください。



木道の表面に降りた霜

月刊 温根内通信 No. 295

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel: 0154-65-2323 Fax: 0154-65-2185

E-mail: ovc@hokkai.or.jp

ホームページ: <http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/>

Facebook: 温根内ビジターセンター フェイスブック

開館時間: 9:00～17:00（11月～3月は16:00まで）

休館日: 毎週火曜日（12/29～1/3は休館）入館無料